

3 ワイン製造業

果実酒の製造免許を有し、ぶどう（濃縮果汁を含む。以下同じ。）を原料とした果実酒を製造している製造業者の集計結果を、ワイン製造業として取りまとめたもの。

(1) 国内のワイナリー数

令和3年1月1日現在のワイナリー数を都道府県別に集計したものが表42、製造免許場及び製造免許者について集計したものが表43である。全国のワイナリー数は413場であり、前回調査から44場増加している。

また、上位3地域（山梨県、長野県、北海道）で全国のワイナリー数の48.4%を占めている。

表 42 都道府県別のワイナリー数

順位	都道府県	ワイナリー数 (場)	順位	都道府県	ワイナリー数 (場)
1	山 梨	92	24	埼 玉	4
2	長 野	62	24	石 川	4
3	北 海 道	46	24	京 都	4
4	山 形	19	24	熊 本	4
5	岩 手	11	29	群 馬	3
6	青 森	10	29	富 山	3
6	新 潟	10	29	兵 庫	3
6	岡 山	10	29	福 岡	3
9	福 島	9	33	岐 阜	2
10	茨 城	8	33	三 重	2
10	栃 木	8	33	滋 賀	2
10	静 岡	8	33	和 歌 山	2
10	愛 知	8	33	山 口	2
10	大 阪	8	33	愛 媛	2
15	広 島	7	33	高 知	2
16	宮 城	6	40	福 井	1
16	千 葉	6	40	徳 島	1
16	東 京	6	40	香 川	1
16	神 奈 川	6	40	長 崎	1
16	大 分	6	40	鹿 児 島	1
16	宮 崎	6	45	奈 良	-
22	鳥 取	5	45	佐 賀	-
22	島 根	5	45	沖 縄	-
24	秋 田	4	全 国 計		413

表 43

都道府県別果実酒個別個表の対象者（場）及び回答者（場）数

局名	都道府県別	製造免許場						製造免許者					
		果実酒製造免許場数			実態調査 対象場数	回答 場数		果実酒製造免許者数			実態調査 対象者数	回答 者数	
		内 試験免許	内 ぶどう原料ワインの 製造又は移出届	場		場	内 日本 ワイン	者	者	者			
札幌	北海道	64	9	9	46	36	34	55	6	5	44	36	
仙台	青森	19	4	5	10	3	3	14	3	3	8	3	
	岩手	15	1	3	11	9	9	15	1	3	11	9	
	宮城	7	-	1	6	6	6	6	-	-	6	6	
	秋田	8	2	2	4	2	2	8	2	2	4	2	
	山形	21	1	1	19	16	16	21	1	1	19	16	
	福島	12	1	3	9	6	6	12	1	1	9	6	
	計	82	9	15	59	42	42	76	8	10	57	42	
関東信越	茨城	12	3	1	8	6	4	9	1	-	8	6	
	栃木	13	3	2	8	7	5	10	2	1	7	6	
	群馬	7	1	3	3	2	1	7	1	3	3	2	
	埼玉	8	1	3	4	2	1	8	1	3	4	2	
	新潟	17	5	2	10	10	9	16	5	1	10	10	
	長野	79	6	11	62	50	48	67	5	8	54	44	
	計	136	19	22	95	77	68	117	15	16	86	70	
東京	千葉	10	1	3	6	3	1	9	1	3	5	3	
	東京都	16	9	1	6	3	3	39	18	7	13	10	
	神奈川	14	7	1	6	3	1	4	-	-	4	1	
	山梨	104	4	8	92	71	66	86	3	5	78	60	
	計	144	21	13	110	80	71	138	22	15	100	74	
金沢	富山	6	1	2	3	3	3	6	1	2	3	3	
	石川	6	2	-	4	2	2	6	2	-	4	2	
	福井	2	1	-	1	1	1	2	1	-	1	1	
	計	14	4	2	8	6	6	14	4	2	8	6	
名古屋	岐阜	14	6	6	2	2	2	10	3	6	1	1	
	静岡	13	3	2	8	7	4	10	1	2	7	6	
	愛知	16	3	5	8	6	2	17	4	4	9	7	
	三重	8	3	3	2	-	-	5	1	2	2	-	
	計	51	15	16	20	15	8	42	9	14	19	14	
大阪	滋賀	4	2	-	2	2	1	3	1	-	2	2	
	京都	8	4	-	4	2	2	7	3	-	4	2	
	大阪	19	7	4	8	5	4	19	8	3	8	5	
	兵庫	13	3	8	3	3	2	11	2	5	3	3	
	奈良	4	2	2	-	-	-	3	1	2	-	-	
	和歌山	9	2	5	2	2	2	9	2	5	2	2	
	計	57	20	19	19	14	11	52	17	15	19	14	
広島	鳥取	8	2	1	5	3	3	6	1	1	4	3	
	島根	8	2	1	5	4	4	7	1	1	5	4	
	岡山	17	5	2	10	9	9	16	6	1	9	8	
	広島	17	6	4	7	6	6	17	5	5	7	6	
	山口	2	-	-	2	1	1	2	-	-	2	1	
	計	52	15	8	29	23	23	48	13	8	27	22	
高松	徳島	3	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	
	香川	2	1	-	1	1	1	2	1	-	1	1	
	愛媛	4	2	-	2	-	-	4	2	-	2	-	
	高知	3	1	-	2	1	-	3	1	-	2	1	
	計	12	5	1	6	3	2	12	5	1	6	3	
福岡	福岡	9	4	2	3	2	2	9	4	1	4	2	
	佐賀	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	
	長崎	3	2	-	1	1	1	3	2	-	1	1	
	計	13	7	2	4	3	3	13	7	1	5	3	
熊本	熊本	9	3	2	4	3	2	7	3	1	3	2	
	大分	8	1	1	6	5	5	7	1	1	5	5	
	宮崎	9	3	-	6	3	3	9	3	-	6	3	
	鹿児島	4	-	3	1	-	-	4	-	3	1	1	
	計	30	7	6	17	11	10	27	7	5	15	11	
沖縄	沖縄	9	3	6	-	-	-	8	2	6	-	-	
	全国計	664	134	119	413	310	278	602	115	98	386	295	

- (注) 1 令和3年1月1日現在の製造免許場数及び製造免許者数である。
- 2 他の酒類において試験製造免許以外の免許を有している製造者が、果実酒製造免許は試験製造免許のみを有している場合は、試験製造免許者として集計している。
- 3 回答場数及び回答者数は、令和3年酒類業実態調査の、果実酒に係る個別項目について回答があった場（者）の数である。
- 4 「内 日本ワイン」の項目は、回答者のうち、日本ワインの製成数量がある場（者）の数を示している。

(2) ワイン製造業の専門割合

事業者の総売上高に占めるワインの売上高の比率（以下「専門割合」という。）について集計したものが図 17 である。専門割合が 100%の者は 43 者（全体の 14.6%）となった。

ワイン製造業者について、製成数量別に専門割合ごとに事業者数を集計したものが表 44 である。専門割合が 100%の者は製成数量が 300kl 未満の事業者となった。

図 17 専門割合別構成比

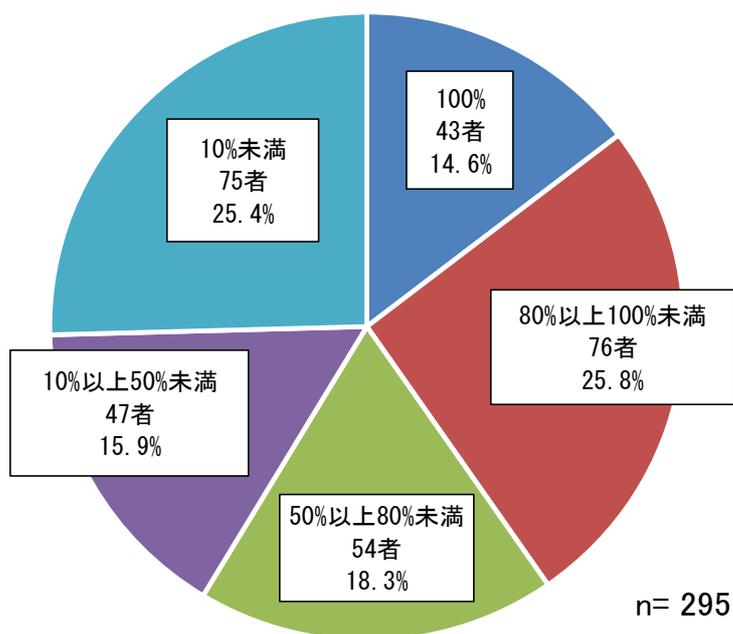


表 44 製成数量規模別の専門割合

製成数量規模 \ 専門割合	10%未満	10%以上 50%未満	50%以上 80%未満	80%以上 100%未満	100%	合計
	者	者	者	者	者	者
100kl 未満	69	45	44	56	41	255
100kl 以上 300kl 未満	2	2	5	6	2	17
300kl 以上 1,000kl 未満	2	-	1	12	-	15
1,000kl 以上	2	-	4	2	-	8
合計	75	47	54	76	43	295

(3) ワイン製造業の経営状況

ワイン製造業に係る経営状況及びワインの売上状況について集計したものが表 45 である。ワイン製造者の 46.4%が欠損又は低収益となっている。

また、製成数量が少ない製造者ほど売上高原料費率や売上高販売費・一般管理費率が高い傾向にあり、製成数量が 100kl 未満の製造者については、全体の営業利益がマイナスとなっている。一方、製成数量が 1,000kl を超える製造者については、営業利益率が 30.4%となっている。

期限付免許者（※）のうち、免許付与後 3 年までの新規製造者の経営状況及びワインの売上状況について集計したものが表 46 である。新規製造者全体としてはワイン製造業に係る営業利益がマイナスとなっている。

※ 製造者以外の者又は他の酒類の製造者が新たに果実酒の製造免許を受ける場合には、原則として 3 年間、免許に期限が付与される。

表 45 ワイン製造者の経営状況及びワインの売上状況

項目	製成数量規模				
	合計	100kl 未満	300kl 未満	1,000kl 未満	1,000kl 以上
	者	者	者	者	者
事業者数	295	255	17	15	8
欠損又は低収益事業者数	137	128	4	3	2
割合	46.4%	50.2%	23.5%	20.0%	25.0%
欠損事業者数	105	96	4	3	2
割合	35.6%	37.6%	23.5%	20.0%	25.0%
低収益事業者数	32	32	-	-	-
割合	10.8%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
売上高	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
	79,686	8,100	4,170	8,415	59,002
日本ワイン	21,688	6,872	3,626	5,067	6,124
製造原価	42,276	4,828	2,236	4,523	30,688
原料費	10,658	2,146	1,004	2,025	5,483
売上総利益	37,410	3,272	1,934	3,891	28,314
販売費・一般管理費	15,118	4,280	1,541	3,174	6,124
営業利益	18,020	△1,008	393	717	17,917
	%	%	%	%	%
売上高製造原価率	53.1	59.6	53.6	53.8	52.0
原料費率	13.4	26.5	24.1	24.1	9.3
売上高売上総利益率	46.9	40.4	46.4	46.2	48.0
売上高販売費・一般管理費率	19.0	52.8	36.9	37.7	10.4
売上高営業利益率	22.6	△12.4	9.4	8.5	30.4

(注) 製造原価及び販売費・一般管理費については事業年度を調査対象期間としているが、売上高については暦年で回答した事業者を含む。

表 46 新規製造者の経営状況及びワインの売上状況

項目	製成数量規模		
	合計	10kl未満	100kl未満
事業者数	52	40	12
欠損又は低収益事業者数	28	24	4
割合	53.8%	60.0%	33.3%
欠損	23	19	4
割合	44.2%	47.5%	33.3%
低収益	5	5	-
割合	9.6%	12.5%	0.0%
売上高	百万円 659	百万円 220	百万円 439
日本ワイン	642	211	431
製造原価	500	136	364
原料費	157	36	121
売上総利益	159	83	76
販売費・一般管理費	461	107	354
営業利益	△ 302	△ 23	△ 278
売上高製造原価率	% 75.9	% 62.0	% 82.8
原料費率	23.8	16.4	27.5
売上高売上総利益率	24.1	38.0	17.2
売上高販売費・一般管理费率	69.9	48.6	80.6
売上高営業利益率	△ 45.8	△ 10.6	△ 63.4

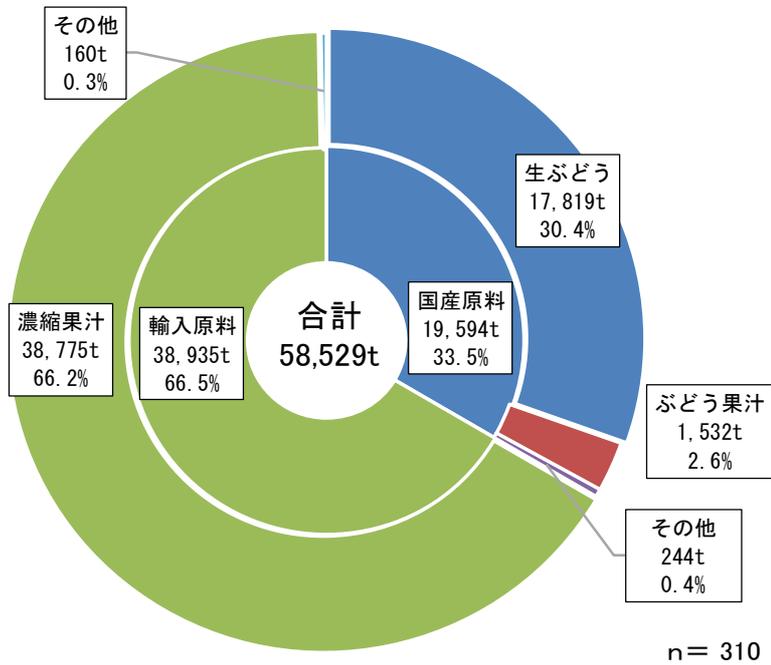
(注) 製造原価及び販売費・一般管理費については事業年度を調査対象期間としているが、売上高については暦年で回答した事業者を含む。

(4) 国内製造ワインの生産及び出荷状況

イ 国内製造ワインの原料について

国内製造ワインの原料を集計したものが図 18 である。ワイン製造に使用された原料のうち、国産原料の割合は 33.5%であった。また、国産の生ぶどうを使用している割合は 30.4%であり、輸入した濃縮果汁を使用している割合は 66.2%となった。

図 18 国内製造ワインの使用原料比

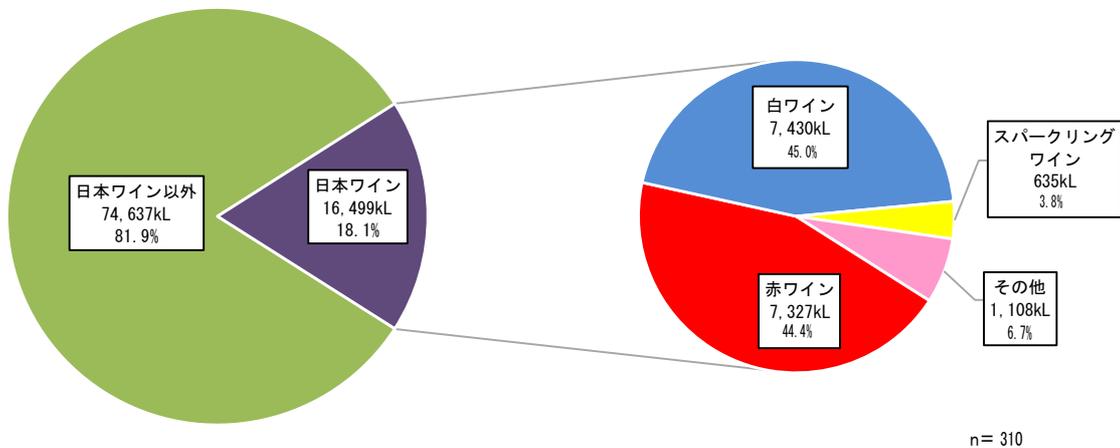


(注) 輸入原料中「その他」には、輸入した生ぶどうが含まれる。

ロ 国内製造ワインの構成比

国内製造ワインについて、日本ワインと日本ワイン以外のワインごとに集計し、さらに日本ワインについて種類別に構成比を集計したものが図 19 である。国内製造ワインのうち日本ワインの製成数量は 18.1% となっている。そのうち、赤ワインと白ワインがそれぞれ 44.4%、45.0% を占めている。

図 19 国内製造ワインの製成数量構成比及び種類別構成比



ハ 日本ワインの製成数量等について

日本ワインについて、都道府県別の製成数量上位3地域とその他の地域に分け集計したものが図20である。上位3地域で日本ワイン製成数量の69.5%を占めている。

日本ワインの製成数量上位3地域について、製成している種類別の構成比を集計すると図21のとおりとなる。山梨県と北海道では白ワインの製成数量割合が高く、長野県では赤ワインの製成数量割合が高い。

図20 日本ワイン製成数量上位3地域の構成比

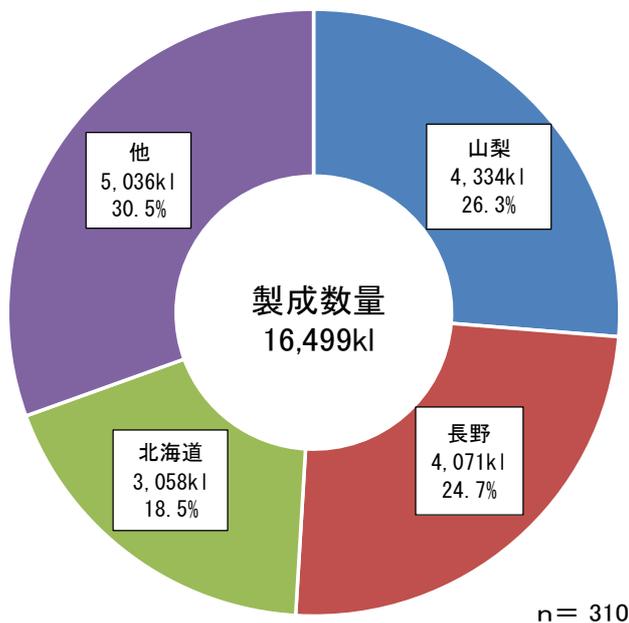
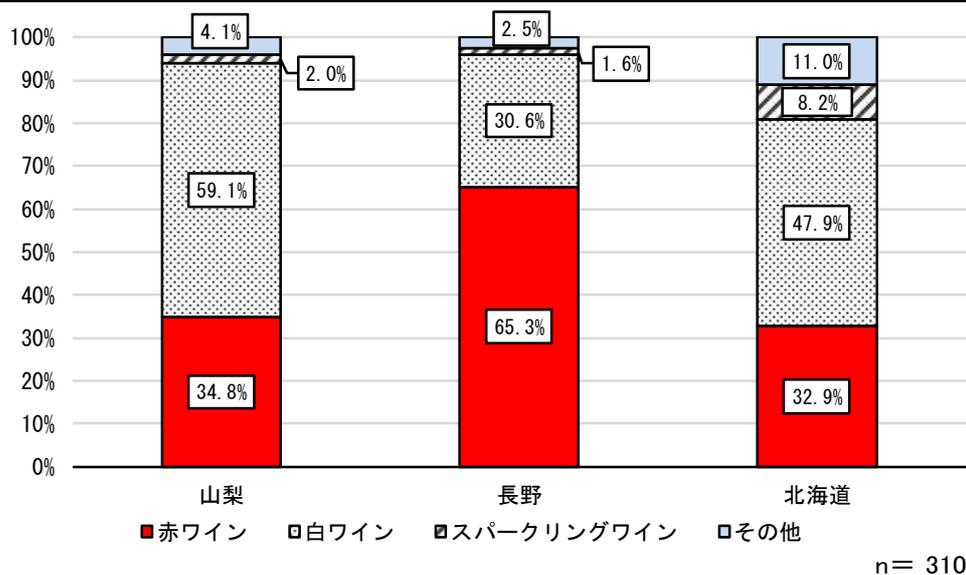


図21 日本ワイン製成数量上位3地域の種類別の製成数量割合



二 国内製造ワインの製成数量等について

国内製造ワインの製成数量及び出荷量について、都道府県別に集計したものが表 47 である。

また、製成数量規模別に使用原料数量等を集計したものが表 48 である。日本ワインについては、主な原料は生ぶどうであり、使用原料全体の 91.5%を占めている。日本ワイン以外のワインについては、使用原料全体の 99.5%が輸入原料であり、そのうち 99.5%が濃縮果汁となっている。

表 47 都道府県別の製成数量及び出荷量

局名	都道府県別	対象場数 (回答場数)	製成数量		出荷量	
			ワイン	内 日本ワイン	ワイン	内 日本ワイン
札幌	北海道	46 (36)	3,173	3,058	3,074	2,361
仙台	青森	10 (3)	18	18	8	8
	岩手	11 (9)	598	596	546	515
	宮城	6 (6)	109	103	66	66
	秋田	4 (2)	X	X	X	X
	山形	19 (16)	1,209	1,173	819	793
	福島	9 (6)	38	37	32	31
	計	59 (42)	X	X	X	X
関東信越	茨城	8 (6)	23	23	18	18
	栃木	8 (7)	34,916	276	20,798	189
	群馬	3 (2)	X	X	X	X
	埼玉	4 (2)	X	X	X	X
	新潟	10 (10)	595	590	432	423
	長野	62 (50)	4,686	4,071	4,421	3,773
	計	95 (77)	40,282	5,016	25,909	4,498
東京	千葉	6 (3)	48	X	435	X
	東京	6 (3)	22	21	38	35
	神奈川	6 (3)	X	X	X	X
	山梨	92 (71)	11,516	4,334	13,794	3,445
	計	110 (80)	X	X	X	X
金沢	富山	3 (3)	58	55	34	34
	石川	4 (2)	X	X	X	X
	福井	1 (1)	X	X	X	X
	計	8 (6)	196	193	131	131
名古屋	岐阜	2 (2)	X	X	X	X
	静岡	8 (7)	57	47	791	45
	愛知	8 (6)	594	X	590	X
	三重	2 (-)	-	-	-	-
	計	20 (15)	X	55	X	56
大阪	滋賀	2 (2)	X	X	X	X
	京都	4 (2)	X	X	X	X
	大阪	8 (5)	128	128	1,044	166
	兵庫	3 (3)	148	X	144	X
	奈良	- (-)	-	-	-	-
	和歌山	2 (2)	X	X	X	X
	計	19 (14)	676	544	1,672	685
広島	鳥取	5 (3)	29	29	46	46
	島根	5 (4)	259	259	270	161
	岡山	10 (9)	3,967	454	5,960	317
	広島	7 (6)	144	140	174	101
	山口	2 (1)	X	X	X	X
	計	29 (23)	X	X	X	X
高松	徳島	1 (1)	X	X	X	X
	香川	1 (1)	X	X	X	X
	愛媛	2 (-)	-	-	-	-
	高知	2 (1)	X	-	X	-
	計	6 (3)	20	X	15	X
福岡	福岡	3 (2)	X	X	X	X
	佐賀	- (-)	-	-	-	-
	長崎	1 (1)	X	X	X	X
	計	4 (3)	24	24	26	25
熊本	熊本	4 (3)	124	X	123	X
	大分	6 (5)	119	115	108	105
	宮崎	6 (3)	167	167	192	192
	鹿児島	1 (-)	-	-	-	-
	計	17 (11)	410	X	423	X
沖縄	沖縄	- (-)	-	-	-	-
合計	合計	413 (310)	91,136	16,499	108,500	13,779

表 48 製成数量規模別の使用原料数量、製成数量及び出荷量

項目		製成数量規模				
		合計	100kl未満	100kl以上 300kl未満	300kl以上 1,000kl未満	1,000kl以上
ワイナリー数		243	204	19	14	6
日本 ワイン	使用原料計	19,396 ^t	4,714 ^t	3,625 ^t	5,570 ^t	5,488 ^t
	国産原料計	19,396	4,714	3,625	5,570	5,488
	生ぶどう	17,752	4,618	3,515	5,515	4,104
	ぶどう果汁	1,485	61	2	39	1,383
	その他	159	35	108	16	-
	製成数量	15,474 ^{kl}	3,463 ^{kl}	2,693 ^{kl}	4,586 ^{kl}	4,731 ^{kl}
日本 ワイン 以外	使用原料計	39,134 ^t	214 ^t	338 ^t	6,951 ^t	31,631 ^t
	国産原料計	178	88	29	14	48
	生ぶどう	46	46	-	-	-
	ぶどう果汁	47	1	-	-	46
	その他	85	41	29	14	1
	輸入原料計	38,956	126	310	6,937	31,584
	濃縮果汁	38,775	85	202	6,904	31,584
	生ぶどう	22	5	-	16	-
	その他	160	36	108	16	-
	製成数量	39,341 ^{kl}	174 ^{kl}	414 ^{kl}	2,165 ^{kl}	36,588 ^{kl}
輸入数量計		25,964 ^{kl}	188 ^{kl}	4,599 ^{kl}	2,136 ^{kl}	19,041 ^{kl}
原料用		8,409	187	1,177	1,979	5,066
販売用		17,556	1	3,422	158	13,975
課税移出数量		84,248	3,621	3,157	7,524	69,947
日本ワイン		12,931	3,057	1,768	3,745	4,361
未納税移出数量		9,329	450	5,085	1,345	2,450
日本ワイン		1,702	279	1,037	258	129

(注) ワインの原料について回答があった製造場の回答を集計したものであり、表 43 の回答場数とは一致しない。

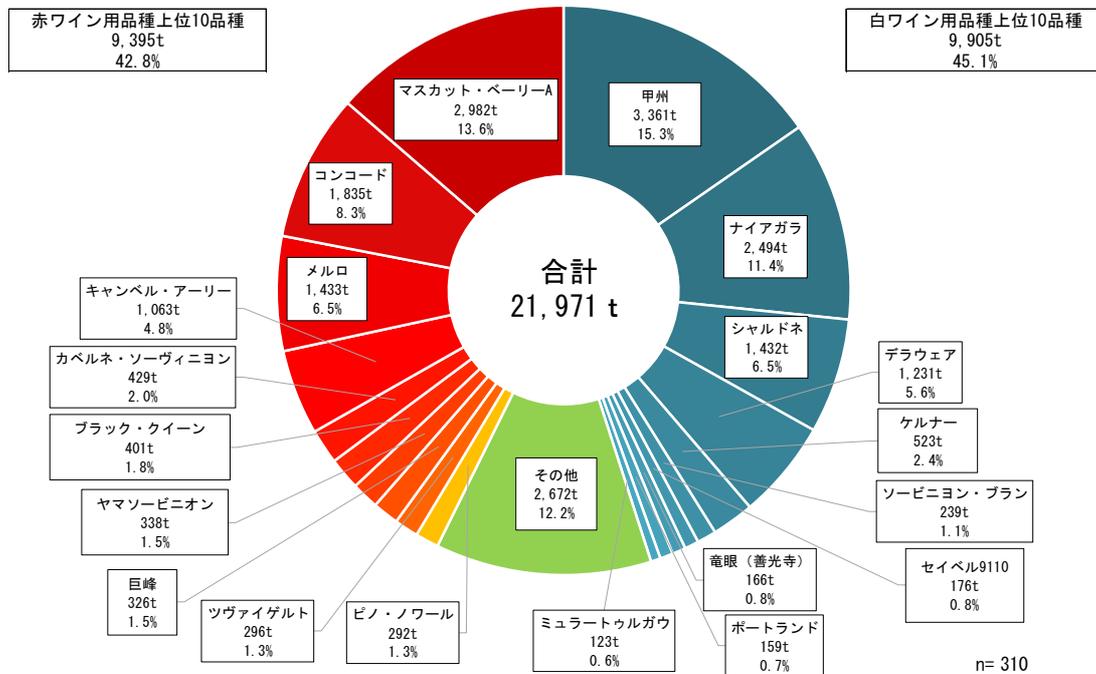
(5) ワイン原料用国産生ぶどうの受入数量（生産量）の状況について

ワイン原料用国産生ぶどうの生産量（受入数量）（赤ワイン及び白ワインそれぞれ上位 10 品種）について集計したものが図 22 である。国内で最も多く生産されているぶどう品種は、赤ワイン用ではマスカット・ベリーA、白ワイン用では甲州となった。

ワイン原料用生ぶどうの生産量が多い品種について、赤ワイン用及び白ワイン用そ

それぞれ上位 10 品種について、主要生産地域を集計したものが表 49 及び表 50 である。また、ワイン原料用生ぶどうの主要産地（上位 5 地域）について、品種ごとに生産量を集計すると表 51 のとおりとなる。

図 22 ワイン原料用国産生ぶどうの生産量（受入数量）（赤白上位 10 品種）



(注) ワインの原料とするために受け入れたぶどうの数量を品種別に集計したものであり、実際にワインの原料に使用した数量とは符合しない。

表 49 赤ワイン用生ぶどう上位 10 品種の主要産地

国内生産 数量順位	品種名	地域別生産量順位										他	合計
		1		2		3		4		5			
		産地	数量	産地	数量	産地	数量	産地	数量	産地	数量		
1	マスカット・ベリーA	山梨	1,621 t	山形	620 t	長野	266 t	広島	69 t	島根	60 t	345 t	2,982 t
2	コンコード	長野	1,835 t	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,835 t
3	メルロ	長野	852 t	山形	144 t	山梨	105 t	兵庫	74 t	新潟	60 t	198 t	1,433 t
4	キャンベル・アーリー	北海道	613 t	岩手	178 t	宮崎	160 t	山形	33 t	秋田	28 t	52 t	1,063 t
5	カベルネ・ソーヴィニオン	長野	113 t	山形	106 t	山梨	75 t	兵庫	64 t	新潟	28 t	44 t	429 t
6	ブラック・クイーン	長野	280 t	山形	60 t	山梨	53 t	新潟	5 t	福島	3 t	1 t	401 t
7	ヤマソービニオン	山形	108 t	石川	96 t	岩手	52 t	長野	16 t	静岡	13 t	53 t	338 t
8	巨峰	長野	157 t	山梨	130 t	熊本	17 t	福岡	13 t	山口	3 t	7 t	326 t
9	ツヴァイゲルト	北海道	268 t	岩手	13 t	新潟	5 t	長野	5 t	山形	3 t	1 t	296 t
10	ピノ・ノワール	北海道	189 t	長野	45 t	山梨	12 t	山形	12 t	青森	6 t	27 t	292 t

(注) ワインの原料とするために受け入れたぶどう数量を集計したものである。

表 50 白ワイン用生ぶどう上位 10 品種の主要産地

国内生産 数量順位	地域別生産量順位 品種名	1		2		3		4		5		他	合計
		産地	数量	産地	数量	産地	数量	産地	数量	産地	数量		
1	甲 州	山 梨	3,212 t	島 根	90 t	山 形	23 t	長 野	15 t	大 阪	9 t	12 t	3,361 t
2	ナイアガラ	北海道	1,146 t	長 野	970 t	山 形	258 t	岩 手	62 t	秋 田	17 t	41 t	2,494 t
3	シャルドネ	長 野	511 t	山 形	223 t	兵 庫	132 t	北海道	99 t	山 梨	93 t	373 t	1,432 t
4	デラウェア	山 形	556 t	山 梨	445 t	大 阪	58 t	香 川	46 t	北海道	40 t	86 t	1,231 t
5	ケルナー	北海道	492 t	長 野	18 t	新 潟	6 t	岩 手	4 t	滋 賀	1 t	1 t	523 t
6	ソービニヨン・ブラン	長 野	110 t	北海道	42 t	山 形	23 t	島 根	18 t	山 梨	11 t	36 t	239 t
7	セイベル 9110	山 形	107 t	長 野	53 t	新 潟	6 t	島 根	4 t	京 都	3 t	2 t	176 t
8	竜眼（善光寺）	長 野	166 t	—	—	—	—	—	—	—	—	—	166 t
9	ポートランド	北海道	154 t	岩 手	3 t	秋 田	2 t	福 島	1 t	—	—	—	159 t
10	ミュラートウルガウ	北海道	114 t	岩 手	8 t	長 野	1 t	福 島	0 t	—	—	—	123 t

(注) ワインの原料とするために受け入れたぶどう数量を集計したものである。

表 51 主要ぶどう産地（上位5地域）の品種別ぶどう生産量（受入数量）

山梨県 生産量 6,136t							
赤ワイン用品種			白ワイン用品種			その他	
品種名	数量(t)	割合	品種名	数量(t)	割合	数量(t)	割合
マスカット・ベリーA	1,621	26.4%	甲州	3,212	52.3%	359	5.9%
巨峰	130	2.1%	デラウェア	445	7.3%		
メルロ	105	1.7%	シャルドネ	93	1.5%		
カベルネ・ソーヴィニオン	75	1.2%	ナイアガラ	12	0.2%		
ベリー・アリカントA	74	1.2%	ネオマスカット	11	0.2%		
計	2,004	32.7%	計	3,773	61.5%	6,136	100.0%
長野県 生産量 5,677t							
赤ワイン用品種			白ワイン用品種			その他	
品種名	数量(t)	割合	品種名	数量(t)	割合	数量(t)	割合
コンコード	1,835	32.3%	ナイアガラ	970	17.1%	478	8.4%
メルロ	852	15.0%	シャルドネ	511	9.0%		
ブラック・クイーン	280	4.9%	竜眼（善光寺）	166	2.9%		
マスカット・ベリーA	266	4.7%	ソーヴィニオン・ブラン	110	1.9%		
巨峰	157	2.8%	セイベル9110	53	0.9%		
計	3,390	59.7%	計	1,809	31.9%	5,677	100.0%
北海道 生産量 4,339t							
赤ワイン用品種			白ワイン用品種			その他	
品種名	数量(t)	割合	品種名	数量(t)	割合	数量(t)	割合
キャンベル・アーリー	613	14.1%	ナイアガラ	1,146	26.4%	990	22.8%
ツヴァイゲルト	268	6.2%	ケルナー	492	11.3%		
ピノ・ノワール	189	4.4%	ポートランド	154	3.5%		
ロンド	142	3.3%	ミュラートウルガウ	114	2.6%		
山幸	130	3.0%	パッカス	101	2.3%		
計	1,343	30.9%	計	2,007	46.2%	4,339	100.0%
山形県 生産量 2,485t							
赤ワイン用品種			白ワイン用品種			その他	
品種名	数量(t)	割合	品種名	数量(t)	割合	数量(t)	割合
マスカット・ベリーA	620	25.0%	デラウェア	556	22.4%	274	11.0%
メルロ	144	5.8%	ナイアガラ	258	10.4%		
ヤマソービニオン	108	4.4%	シャルドネ	223	9.0%		
カベルネ・ソーヴィニオン	106	4.3%	セイベル9110	107	4.3%		
ブラック・クイーン	60	2.4%	リースリング・フォルテ	29	1.1%		
計	1,038	41.8%	計	1,173	47.2%	2,485	100.0%
岩手県 生産量 625t							
赤ワイン用品種			白ワイン用品種			その他	
品種名	数量(t)	割合	品種名	数量(t)	割合	数量(t)	割合
キャンベル・アーリー	178	28.5%	リースリング・リオン	97	15.5%	79	12.6%
ヤマソービニオン	52	8.3%	ナイアガラ	62	9.9%		
マスカット・ベリーA	45	7.1%	シャルドネ	15	2.4%		
メルロ	44	7.0%	ミュラートウルガウ	8	1.2%		
ヤマブドウ	41	6.6%	リースリング	6	1.0%		
計	359	57.4%	計	187	30.0%	625	100.0%

(注) ワインの原料とするために受け入れた品種別のぶどうの数量を集計したものであり、実際にワインの原料に使用した数量とは符合しない。

- (6) **ワイン原料用国産生ぶどうの自営農園及び契約栽培における栽培状況について**
 国内におけるワイン原料用生ぶどうの自営農園及び契約栽培における栽培方法について集計したものが図 23 である。棚栽培での生産が全体の 63.3%となった。
 棚栽培及び垣根栽培により生産されたワイン原料用生ぶどうの受入数量（生産量）について、赤ワイン及び白ワイン用の品種それぞれ上位5種の生産割合を集計したものが図 24 である。棚栽培で最も多く生産されているぶどう品種は、赤ワイン用ではコンコード、白ワイン用では甲州であり、垣根栽培で最も多く生産されているぶどう品種は、赤ワイン用ではメルロ、白ワイン用ではシャルドネとなった。
 また、赤ワイン用及び白ワイン用別に、棚栽培及び垣根栽培ごとの生産量が多い上位5品種の主要生産地及び生産量を集計すると表 52 のとおりとなる。

図 23 **ワイン原料用国産生ぶどうの自営農園及び契約栽培における栽培方法**

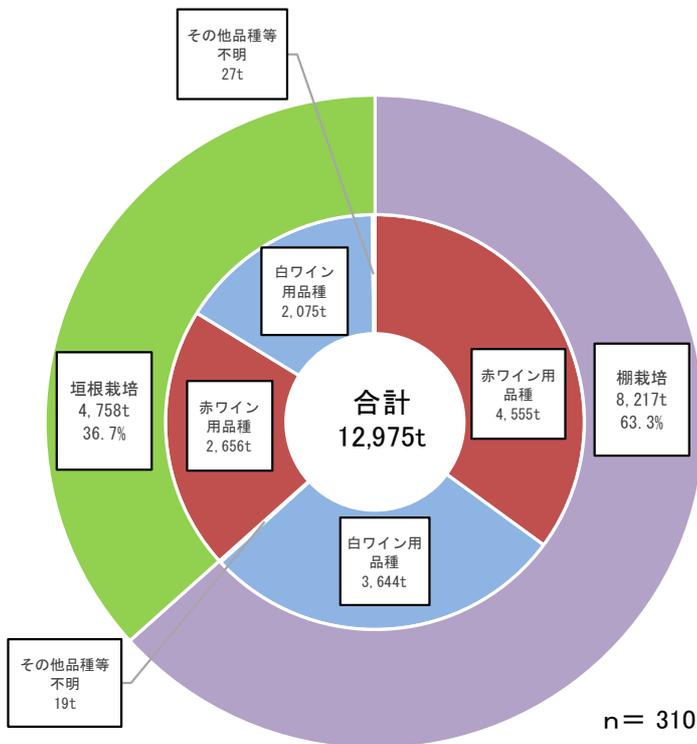
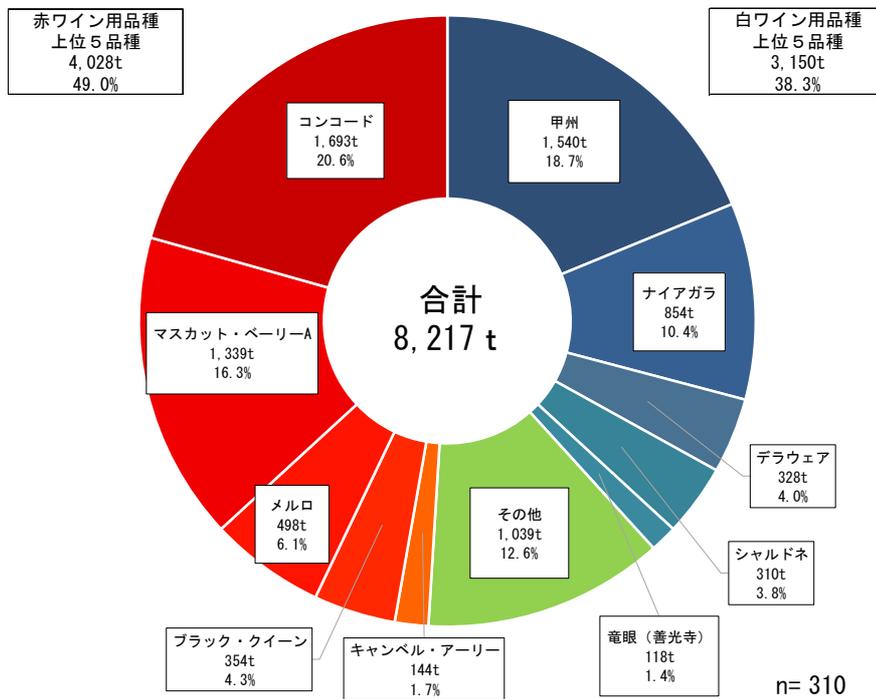
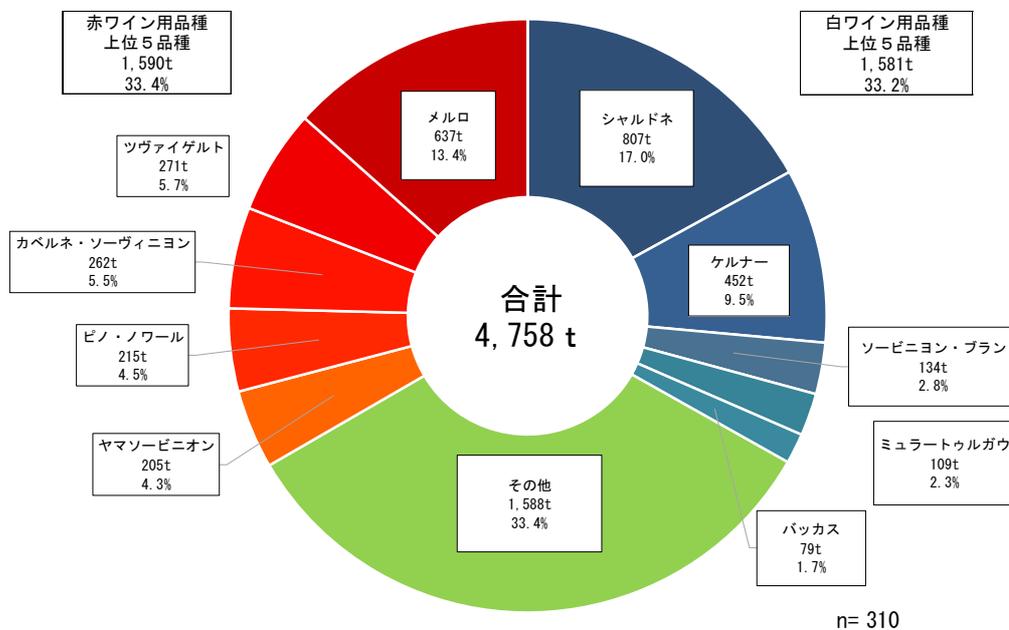


図 24 棚栽培及び垣根栽培のぶどう品種別生産割合（赤白上位5種）

【棚栽培】



【垣根栽培】



(注) ワインの原料とするために受け入れたぶどう数量を品種別に集計したものである。

表 52 栽培方法ごとのぶどう品種別主要産地及び生産量（受入数量）（赤白上位5種）

種類	栽培方法	国内生産数量順位	地域別生産量順位 品種名	1		2		3		他	合計
				産地	数量	産地	数量	産地	数量		
赤ワイン用品種	棚栽培	1	コンコード	長野	1,693 t	—	—	—	—	—	1,693 t
		2	マスカット・ベリーA	山梨	563 t	山形	312 t	長野	148 t	317 t	1,339 t
		3	メルロ	長野	344 t	山形	67 t	山梨	35 t	52 t	498 t
		4	ブラック・クイーン	長野	259 t	山形	55 t	山梨	34 t	6 t	354 t
		5	キャンベル・アーリー	宮崎	106 t	岩手	31 t	北海道	3 t	3 t	144 t
	垣根栽培	1	メルロ	長野	344 t	兵庫	65 t	山梨	51 t	178 t	637 t
		2	ツヴァイゲルト	北海道	254 t	岩手	7 t	新潟	4 t	5 t	271 t
		3	カベルネ・ソーヴィニオン	長野	99 t	兵庫	59 t	山梨	40 t	65 t	262 t
		4	ピノ・ノワール	北海道	150 t	長野	34 t	新潟	6 t	25 t	215 t
		5	ヤマソービニオン	山形	108 t	石川	59 t	静岡	13 t	25 t	205 t
白ワイン用品種	棚栽培	1	甲州	山梨	1,413 t	島根	90 t	山形	16 t	22 t	1,540 t
		2	ナイアガラ	長野	786 t	岩手	25 t	山形	12 t	31 t	854 t
		3	デラウェア	山梨	141 t	山形	106 t	大阪	56 t	24 t	328 t
		4	シャルドネ	山形	145 t	福島	52 t	長野	34 t	80 t	310 t
		5	竜眼（善光寺）	長野	118 t	—	—	—	—	—	118 t
	垣根栽培	1	シャルドネ	長野	352 t	兵庫	98 t	北海道	85 t	272 t	807 t
		2	ケルナー	北海道	443 t	長野	6 t	新潟	1 t	1 t	452 t
		3	ソービニオン・ブラン	長野	80 t	北海道	33 t	富山	4 t	16 t	134 t
		4	ミュラートウルガウ	北海道	107 t	岩手	2 t	長野	0 t	—	109 t
		5	バツカス	北海道	79 t	長野	0 t	—	—	—	79 t

（注） ワインの原料とするために受け入れたぶどう数量を集計したものである。

(7) ワイン原料用国産ぶどうの受入の状況

ワイン原料用生ぶどうの受入形態を集計したものが図 25 である。受入形態として最も多いのは契約栽培であり、全体の 41.6% となった。生産規模別に受入形態を集計したものが表 53 である。自営農園と回答したのは全て生産規模が 100kl 未満の事業者であり、生産規模が 100kl 以上の事業者については、契約栽培や購入との回答が多かった。

都道府県別に、ワイン原料用国産ぶどうの品種別受入数量を集計すると表 54、ワイン原料用生ぶどうの品種別に、受入形態と主要産地を集計すると表 55 のとおりとなる。さらに、ワイン原料用生ぶどうの生産量上位 6 地域について、ワイン原料用生ぶどうの生産量及び出荷状況を集計すると表 56 のとおりとなる。

図 25 ワイン原料用国産生ぶどうの受入形態別構成比

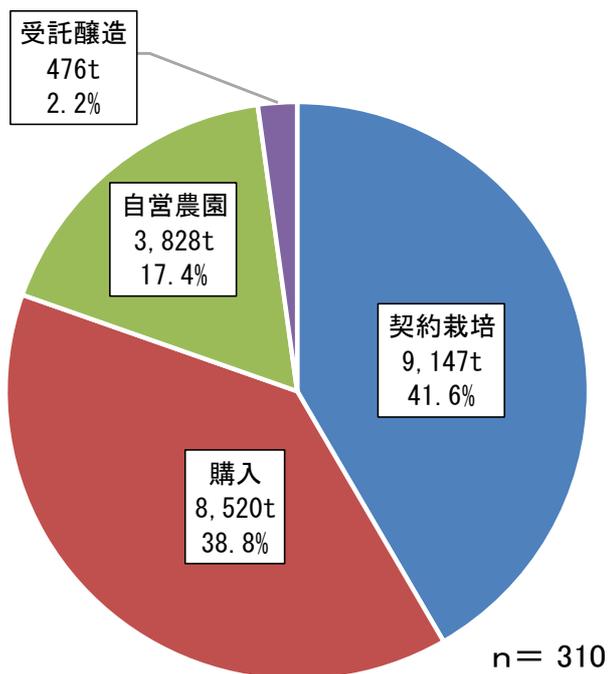


表 53 製成数量規模別のワイン原料用国産生ぶどうの最多受入形態別製造場数

受入形態	製成数量規模				合計
	100kL未満	100kL以上 300kL未満	300kL以上 1,000kL未満	1,000kL以上	
	場	場	場	場	場
自営農園	99	-	-	-	99
契約栽培	65	12	7	2	86
受託醸造	17	-	-	-	17
購入	60	6	8	3	77
受入なし	27	1	1	2	31
合計	268	19	16	7	310

表 54 都道府県別のワイン原料用国産生ぶどうの品種別受入数量

局所名	都道府県	対象 場数	回答 場数	甲州	マスカット・ ペーリーA	ナイアガラ	コンコード	シャルドネ	メルロ	デラウェア	キャンベル・ アーリー	ケルナー	カベルネ・ ソーヴィニヨ ン	その他	合計
札幌	北海道	46	36	6	X	1,076	-	99	42	124	662	281	4	X	4,119
仙台	青森	10	3	-	X	X	-	-	X	X	X	-	-	X	22
	岩手	11	9	-	64	73	-	16	44	16	208	4	9	309	743
	宮城	6	6	12	31	2	-	13	19	26	3	-	3	27	137
	秋田	4	2	-	-	X	-	-	-	-	-	-	-	X	X
	山形	19	16	15	391	136	-	169	87	325	15	-	41	446	1,625
	福島	9	6	2	11	1	-	8	5	1	-	X	4	X	57
	計	59	42	29	X	221	-	206	X	X	X	X	57	830	2,606
関東信越	茨城	8	6	1	3	-	-	2	1	-	-	-	-	23	30
	栃木	8	7	57	34	3	-	33	12	7	X	X	34	35	268
	群馬	3	2	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	X	X
	埼玉	4	2	X	X	-	-	X	X	-	-	-	X	X	X
	新潟	10	10	41	184	14	-	51	79	48	6	16	26	88	553
	長野	62	50	13	290	996	1,823	385	658	9	2	18	93	1,012	5,300
	計	95	77	X	X	1,013	1,823	473	752	64	X	X	X	1,165	6,223
東京	千葉	6	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X
	東京都	6	3	4	5	3	X	4	3	6	-	-	X	12	39
	神奈川	6	3	-	-	X	-	X	X	X	-	-	-	X	X
	山梨	92	71	2,956	1,447	99	10	245	295	356	X	X	124	629	6,163
	計	110	80	2,960	1,452	X	X	X	X	X	X	X	X	645	6,211
金沢	富山	3	3	-	X	-	-	17	11	-	-	-	X	16	73
	石川	4	2	-	X	X	-	X	X	-	-	-	X	71	144
	福井	1	1	X	X	X	-	X	-	X	-	-	X	X	X
	計	8	6	X	60	21	-	32	X	X	-	-	6	X	X
名古屋	岐阜	2	2	-	X	X	-	-	-	X	-	-	-	X	X
	静岡	8	7	19	X	X	-	12	8	-	-	-	X	48	92
	愛知	8	6	-	-	-	-	-	X	X	-	-	X	X	X
	三重	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	20	15	19	2	4	-	12	X	2	-	-	2	54	104
大阪	滋賀	2	2	-	X	-	-	X	X	-	-	X	-	X	X
	京都	4	2	X	X	X	-	X	X	X	X	-	X	X	X
	大坂	8	5	15	36	10	-	20	16	70	X	X	6	9	191
	兵庫	3	3	-	-	-	-	X	X	-	-	-	X	X	X
	奈良	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	和歌山	2	2	-	-	-	-	X	X	-	-	-	-	X	X
	計	19	14	X	96	X	-	136	88	X	18	1	71	131	789
広島	鳥取	5	3	X	26	-	-	2	2	-	-	-	2	X	43
	島根	5	4	X	60	-	-	28	19	X	-	-	4	68	269
	岡山	10	9	X	92	-	-	29	5	X	X	X	1	195	582
	広島	7	6	-	66	X	-	26	19	9	X	-	X	82	204
	山口	2	1	-	X	-	-	-	-	X	-	-	-	X	X
	計	29	23	163	X	X	-	86	44	51	4	X	X	353	X
高松	徳島	1	1	-	X	-	-	X	-	-	-	-	-	X	X
	香川	1	1	X	X	X	-	-	-	X	-	-	-	X	X
	愛媛	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	高知	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	6	3	X	X	X	-	X	-	X	-	-	-	X	X
福岡	福岡	3	2	-	X	-	-	X	X	X	X	X	X	X	X
	佐賀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	長崎	1	1	-	X	X	-	-	-	-	X	-	-	X	X
	計	4	3	-	6	X	-	X	X	X	6	X	X	17	34
熊本	熊本	4	3	X	X	X	-	X	X	X	X	-	X	X	X
	大分	6	5	1	29	12	-	36	17	20	6	-	-	29	150
	宮崎	6	3	X	40	X	-	22	2	X	116	-	X	23	222
	鹿児島	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	17	11	3	X	27	-	X	X	45	X	-	5	X	X
沖縄	沖縄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国		413	310	3,361	2,982	2,494	1,835	1,432	1,433	1,231	1,063	523	429	5,189	21,971

表 55 ワイン原料用生ぶどう品種別の受入形態の明細及び主要産地

品種名	受入形態									合計	主要産地		
	自営農園			契約栽培			購入	受託醸造	都道府県		数量		
	計	棚	垣根	計	棚	垣根							
赤ワイン用品種													
マスカット・ベリーA	223	208	15	1,173	1,131	42	1,544	41	2,982	山梨	1,621		
巨峰	10	10	0	22	21	1	287	6	326	長野	157		
コンコード	298	296	2	1,397	1,397	-	135	5	1,835	長野	1,835		
キャンベル・アーリー	22	18	4	136	125	11	903	2	1,063	北海道	613		
メルロ	440	90	351	695	408	287	268	30	1,433	長野	852		
カベルネ・ソーヴィニヨン	158	21	137	178	53	125	75	17	429	長野	113		
ツヴァイゲルト	84	4	80	198	7	191	2	11	296	北海道	268		
ヤマソービニオン	52	8	44	171	11	160	107	7	338	山形	108		
ヤマブドウ	13	5	8	102	33	69	51	24	190	山形	57		
セイベル13053 (清見)	25	-	25	81	-	81	10	6	122	北海道	115		
山幸	72	-	72	50	-	50	0	9	132	北海道	130		
ブラック・クイーン	83	83	0	272	271	1	45	2	401	長野	280		
カベルネ・フラン	54	13	40	20	16	3	6	4	83	長野	46		
ピノ・ノワール	150	13	137	81	3	77	19	42	292	北海道	189		
プティ・ヴェルド	44	20	23	5	3	3	4	-	53	山梨	35		
シラー	63	11	52	13	7	6	8	2	86	長野	37		
アジロンダック	3	3	-	50	50	-	12	4	69	山梨	69		
甲斐ノワール	3	2	1	26	24	2	6	0	34	山梨	31		
白ワイン用品種													
甲州	245	220	25	1,321	1,321	0	1,740	56	3,361	山梨	3,212		
竜眼 (善光寺)	8	8	-	111	111	-	48	-	166	長野	166		
ナイアガラ	86	78	8	778	776	1	1,619	11	2,494	北海道	1,146		
デラウェア	84	79	5	249	249	1	872	26	1,231	山形	556		
シャルドネ	473	63	411	644	248	396	248	67	1,432	長野	511		
ケルナー	105	36	69	389	7	382	15	13	523	北海道	492		
ミュラートウルガウ	30	3	27	86	3	82	4	4	123	北海道	114		
パッカス	39	9	31	48	-	48	12	2	101	北海道	101		
リースリング・リオン	3	0	3	97	29	67	1	1	102	岩手	97		
ソービニオン・ブラン	106	12	94	60	20	40	55	19	239	長野	110		
ピノ・ブラン (ヴァイスブルグンダー)	43	1	42	23	16	7	1	2	68	北海道	35		
ピノ・グリ	45	3	42	5	-	5	0	12	62	北海道	42		
ポートランド	5	2	3	8	3	5	145	2	159	北海道	154		
セイベル9110	8	3	5	136	113	23	32	-	176	山形	107		
セイベル5279	2	-	2	48	-	48	-	0	51	北海道	51		

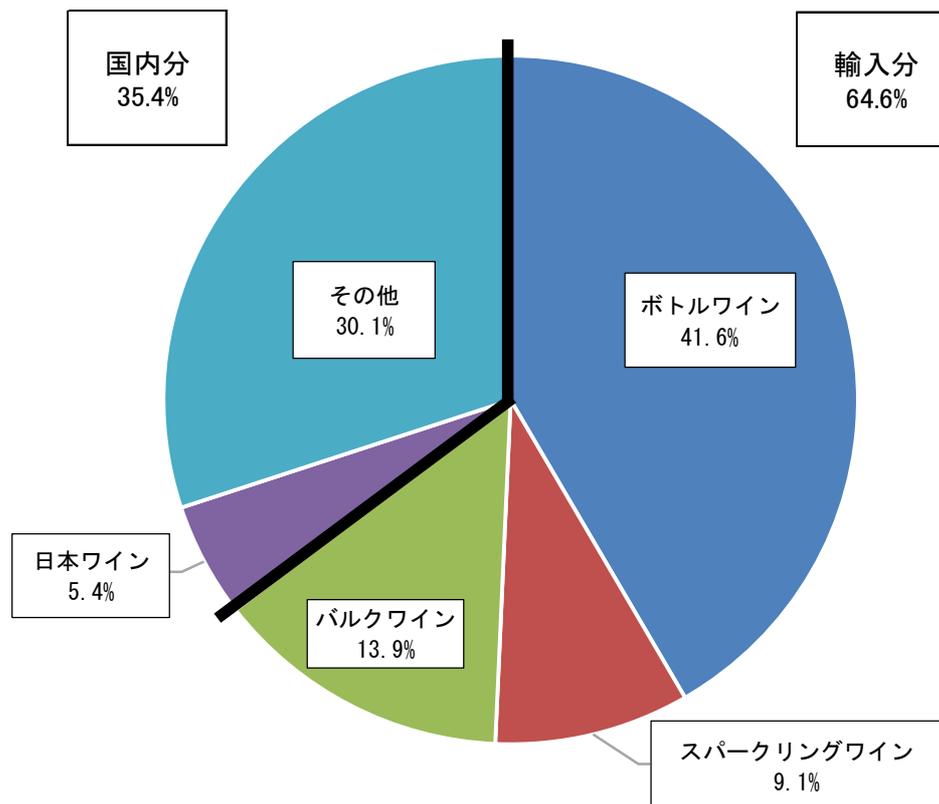
表 56 ワイン原料用生ぶどう生産量上位6地域のワイン原料用国産生ぶどう受入状況

ぶどう産地	ワイン原料用ぶどう生産量 (ぶどう産地別)	自県ワイナリーの 出荷数量 (ワイナリー所在地別)	他県ワイナリーへ の出荷数量	出荷先都道府県									
				岡山	京都	89	栃木	77	長野	71	埼玉	63	
山梨県	(100.0%) 6,136	(88.0%) 5,401	(12.0%) 735	岡山	149	京都	89	栃木	77	長野	71	埼玉	63
長野県	(100.0%) 5,677	(89.9%) 5,105	(10.1%) 572	山梨	407	栃木	51	新潟	48	岡山	16	東京	15
北海道	(100.0%) 4,339	(89.9%) 3,901	(10.1%) 438	岡山	244	長野	81	栃木	63	新潟	15	石川	15
山形県	(100.0%) 2,485	(64.3%) 1,598	(35.7%) 887	山梨	226	新潟	177	宮城	98	北海道	81	京都	80
岩手県	(100.0%) 625	(95.7%) 598	(4.3%) 27	大阪	14	北海道	6	新潟	3	山形	3	神奈川	1
兵庫県	(100.0%) 300	(83.2%) 249	(16.8%) 50	山梨	28	京都	13	島根	8	東京	2	長野	0
全国計	(100.0%) 21,971	(85.5%) 18,789	(14.5%) 3,182										

(8) 国内におけるワインの流通状況

国内市場におけるワインの流通量について、財務省貿易統計及び本調査結果から推計したものが図 26 である。国内流通量に占める輸入ワインの割合が 64.6%となっている。また、日本ワインの流通量は国内流通量の 5.4%となっている。

図 26 国内市場におけるワイン流通量の構成比（令和 2 年度推計値）

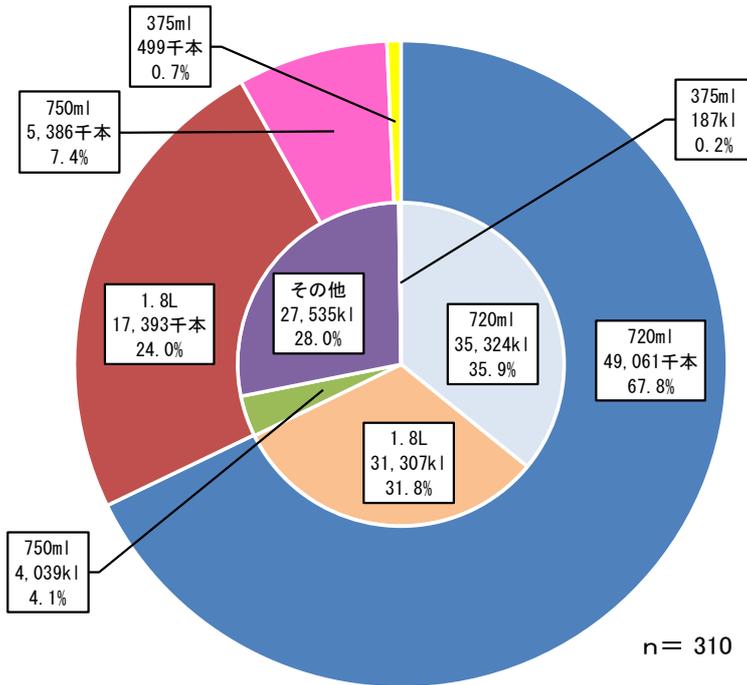


- (注) 1 国内分・輸入分の構成比は、令和 2 年度国税庁統計年報による果実酒の課税数量比である。
- 2 輸入分の内訳は、財務省貿易統計の輸入数量比である。
- 3 国内分の構成割合は、令和 3 年酒類業実態調査を基に推計している。

(9) ワインの容器容量別販売状況

国内で製成されたワインについて、容器容量別に集計したものが図 27 である。720ml 容器による販売本数が最も多く、国内販売本数に占める割合は 67.8%であり、国内の販売数量に占める割合は 35.9%となった。

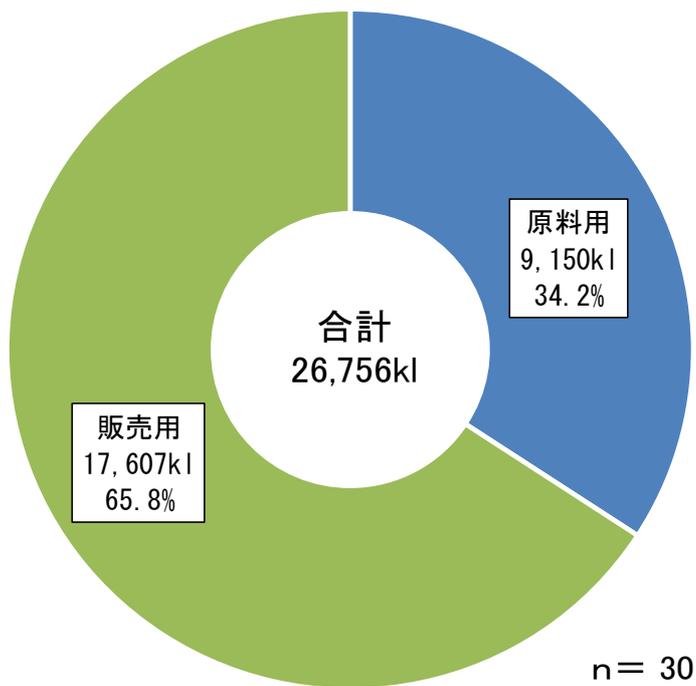
図 27 ワインの容器容量別の販売本数構成比



(10) 外国産ワインの用途別輸入状況

輸入した外国産ワインの用途について集計したものが図 28 である。ワインの原料用が 34.2%、販売用（そのまま販売容器に充填して販売するもの）が 65.8%となった。

図 28 外国産ワインの用途別割合



(11) 果実酒の生産・出荷・消費量の都道府県ランキング

果実酒の製成数量、出荷量及び販売数量を集計し、それぞれ上位10都道府県を並べたものが表57である。果実酒全体の製成数量は栃木県が最も多く、内日本ワインについては山梨県の製成数量が最も多くなった。

表 57 果実酒の製成数量・出荷数量・消費量の上位10都道府県

順位	製成数量			出荷量			販売 (消費) 数量	成人 一人当たり
	果実酒	ワイン		果実酒	ワイン			
		日本ワイン	日本ワイン					
1	栃木県	栃木県	山梨県	神奈川県	神奈川県	長野県	東京都	東京都
2	神奈川県	神奈川県	長野県	栃木県	栃木県	山梨県	神奈川県	山梨県
3	山梨県	山梨県	北海道	山梨県	山梨県	北海道	大阪府	和歌山県
4	岡山県	長野県	山形県	岡山県	岡山県	山形県	埼玉県	埼玉県
5	長野県	岡山県	岩手県	大阪府	長野県	岩手県	千葉県	神奈川県
6	北海道	北海道	新潟県	長野県	北海道	新潟県	北海道	大阪府
7	青森県	山形県	岡山県	北海道	大阪府	岡山県	愛知県	長野県
8	山形県	岩手県	栃木県	青森県	山形県	京都府	兵庫県	北海道
9	広島県	新潟県	島根県	千葉県	静岡県	宮崎県	福岡県	宮城県
10	岩手県	愛知県	京都府	山形県	愛知県	栃木県	静岡県	沖縄県

(注) 令和2年国税庁統計年報による。ただし、「ワイン」及び「日本ワイン」については、令和3年酒類業実態調査による。

(参考) ワイン製造業に関する用語について

ワイン製造業について使用している用語の意味は次表のとおりである。

用語	意味
国内製造ワイン	国内で製造されたワイン
ワイナリー	果実酒の製造免許を有し、ワインを製造している製造場のうち、令和2年1月1日～令和2年12月31日においてワインの生産又は出荷の事績がある製造場
新規製造者	果実酒の製造免許に期限が付されている製造者（酒類製造者以外の者、果実酒以外の酒類の製造者が新たに果実酒の免許を受ける場合は、原則として3年間は免許に期限が付される。）のうち、免許付与後3年までの者
生ぶどう	ぶどうのうち、ぶどう果汁以外の生果のもの
赤ワイン	赤ワインのうち、発泡性のないもの（スティルワイン）
白ワイン	白ワインのうち、発泡性のないもの（スティルワイン）
スパークリングワイン	赤ワイン、白ワイン、ロゼワイン等に関わらず、発泡性のあるもの
その他ワイン	赤ワイン、白ワイン、スパークリングワインに該当しないもの
自営農園	自社栽培、自社管理農場、役員の農園及び関連法人の運営するぶどう農園
契約栽培	農家との契約により原料ぶどうの栽培を委託しているもの
委託醸造	農家等の依頼者から原料ぶどうを受け入れて醸造を行い、その依頼者に製造したワインを引き渡すこと。